

久山中便り

久山中学校
令和8年2月20日発行
第75号

切り替えて公立入試へ

三年生

私立高校前期入試の合格発表が終了しました。私立前期入試は、全員合格という素晴らしい結果でした。

ほっと一息つきたいところですが、公立高校を第一志望にしている皆さんは、これからが正念場。あと一ヶ月をどう過ごすかで、結果が大きく変わります。

公立高校の一般入試を受験する三年生は、約50名。三年生の半数の仲間が、希望する進路実現に向けて、最後の試験に挑んでいきます。

公立高校の入試問題は、学校の授業で学んだ内容が中心です。ですので、難問と呼ばれるものは、さほど多くありません。それだけに、ミスができません。それでは、ミス防ぐにはどうしたらよいのでしょうか。

一 反復で「つもり」をなくす。

「覚えているつもり」「理解しているつもり」を防ぐためにも、「反復練習が大切です。」

繰り返し返し、見直す。ノートに書き写すなどが効果的です。

二 問題文を注意深く読む。

問題文が何を問うているかを解釈することが重要です。事実を聞いているのか、理由を尋ねているのかなど、出題者側に立って問題文を読む工夫をしてみましょう。

三 解答を見直す。

一度、答えた問題を、再度、解答することが大切です。解答欄がずれていないか。誤字脱字がないかなどを確認しましょう。

進路が決定して、卒業を待っている三年生がいると思いますが、半数の仲間が公立入試に臨みます。各学級で、学習の雰囲気づくりに協力してください。

また、一・二年生は、三年生の進路実現への応援をよろしくお願いします。

学年末考査（一・二年生）

週末は、一・二年生の学年末考査でした。教科によっては、一年間に学習したことの出題範囲になる場合もあります。

各教科の先生方も、試験問題を工夫していただきますし、公立高校入試問題を意識して、冊子型の用紙で多く出題しています。

回答方式も「記号選択式」「記述式（語句を応える問題）」「論述式（文章で回答する問題）」

など多様な方法が採用されています。特に、「論述式」は、相手に伝わる文章でな

いと採点対象になりませんもちろん、文字も丁寧に描く必要があります。

問題になれることも重要ですが、通常の授業において、先生方の「問い」を注意深く聞くことが大切です。おそらく、試験問題と同じ「問い」がいくつも出てくることだと思います。まず、授業が大切になります。

理科コンクール（一年生）

一年生は、各教科のコンクールを定期的の実施しています。

今回は、理科コンクール。重要用語の理解が進んでいるか、50問出題されました。

例えば、「軟体動物を包んでいる膜」。

この問題は、過去に公立高校入試で出題されたことがあります。（正答は「外とう膜」）

「物質の単位当たりの質量」。このように聞かれると戸惑いますが、「密度」のことです。重要語句が何を示しているのかを、理解して覚えておくことが大切です。

チーム戦で挑んだ「理科コンクール」。結果は、来週発表されます。満点がたくさん出ることを楽しみにしています。

